



巻頭言

循環器内科 教授 / たんの かのる 丹野 郁

高齢社会と心不全

間違いなくいえることは、日本社会は人類史上かつてない高齢社会に直面しており、この傾向は今後も続く、ということです。我々は高齢社会の生き方を理解し実践する必要に迫られています。高齢社会とは、人口統計学的な特徴を指す言葉であり、人口の大部分が高齢者（通常、65歳以上）から成る社会を指します。この現象は、世界的に高齢者の割合が増加しており、特に先進国では高齢社会が進行しています。高齢社会は、長寿命と高齢者の比率が増加することを意味し、健康状態や医療ニーズに関して新たな課題を提起しています。高齢社会を生き抜くためには、身体的、精神的、社会的な側面を含めて総合的なアプローチが必要です。以下は高齢者が生き抜くために考慮すべき要点です。



- ①**健康管理**：定期的な医療検査や健康診断を受けることで、健康状態を把握し、早期に問題を発見しましょう。健康的な食事と適度な運動を維持し、肥満、糖尿病、高血圧などの慢性疾患を予防または管理しましょう。
- ②**薬物管理**：服薬管理は重要であり、医師の指示に従い、薬物を正確に服用しましょう。複数の医師から処方された薬物の併用には注意が必要です。
- ③**社会的つながり**：友人や家族とのコミュニケーションを維持し、孤独感を減少させましょう。地域コミュニティやクラブに参加し、新しい友達を作る機会を見つけましょう。
- ④**趣味や活動**：趣味や興味を持つ活動に取り組むことは、心身の健康を維持するのに役立ちます。趣味を通じて新しいスキルを習得することも楽しいです。

心不全は、心臓が効率的に血液を体に送り出すことができない状態を指します。この病態は、心臓の筋肉が弱体化したり、心臓のポンプ能力が低下したりすることによって発生します。心不全は高齢者に特に影響を及ぼしやすく、以下の点で高齢社会との関連性があります。

- ①**高齢者の増加**：高齢社会において、高齢者の割合が増えることで、心不全の発症リスクも増加します。高齢者は通常、慢性疾患のリスクが高まるため、心不全の発症率も高まります。
- ②**合併症のリスク**：高齢者は他の健康問題や合併症を抱えていることがよくあり、これらの疾患は心不全の管理や治療を難しくする可能性があります。
- ③**医療ニーズの増加**：高齢者の増加に伴い、心不全を含む慢性疾患の医療ニーズが増大します。これにより、高齢者向けの適切な医療サービスやケアの提供が必要とされます。
- ④**健康への影響**：心不全は高齢者にとって重大な健康問題であり、生活の質に影響を与えることがあります。高齢者の心不全患者は、通常、入院治療や長期ケアが必要となることが多いです。

高齢社会において、心不全の予防、早期診断、適切な治療、およびケアの提供が重要です。高齢者の心臓の健康をサポートし、心不全の発症や進行を遅らせるために、生活習慣の改善や医療の進歩が必要です。また、高齢者の特別なニーズに合った医療体制や社会的支援も整備されるべきです。



第116号のトピックス

- ・巻頭言（循環器内科）
- ・高度生殖補助医療の実施体制拡充について
- ・第17回公開講座開催報告・動画配信のお知らせ
- ・江東区立豊洲図書館 推薦図書コーナーの設置について
- ・クリスマスツリーを点灯しました
- ・年末年始休診のお知らせ
- ・江東豊洲病院開院10周年に向けて Part6
- ・編集後記

高度生殖補助医療の実施体制拡充について

産婦人科准教授 / 近藤 哲郎

当院産婦人科ではこの度、体外受精や顕微授精、胚凍結、胚移植といった生殖補助医療（Assisted Reproductive Technology: ART、以下 ART）施設を 2024 年初頭に開設します。



昭和大学江東豊洲病院は「女性とこどもにやさしい病院」をモットーに 2014 年の開院以来地域の皆様に貢献できるよう医療を続けてまいりました。特に周産期分野では新生児集中治療室（NICU）を備え、妊娠出産に関する地域の中核病院としての役割を果たしてきました。また、婦人科領域では腹腔鏡をはじめ、良性疾患に対する治療を充実させてきました。そうしたなか、豊洲臨海地区では周辺の開発、発展に伴い人口が増加を続けています。それとともに若いカップルの住民も増えています。現在、拳児を希望するカップルの 10 組に 1 組は不妊と言われており、不妊治療に対するニーズは年々高まっています。

そこで 2019 年より一般不妊治療を開始し、タイミング指導、人工授精を行ってきました。また、2022 年より不妊治療の保険収載が始まり、今まで高額であった不妊治療にも国の助成が開始されました。昭和大学江東豊洲病院では地域住民にニーズに答えるべく、体外受精による不妊治療を開始することとなりました。これに伴いタイミング指導や人工授精といった一般不妊治療からのステップアップはもちろん、妊娠が成立し分娩（出産）までシームレスな対応が可能となります。

1978 年に世界で初めてイギリスで体外受精児が誕生し、以降日本を含め各国で ART は広く行われている治療方法です。日本産科婦人科学会の報告によると約 20 年前の 2001 年の ART 出生数はおよそ 1 万人でしたが、2021 年の ART 出生数は約 7 万人まで及んでおり、1 クラス 30 人の学校なら、クラスに 2~3 人は ART 出生児となる計算となる現状です。

さらに 2020 年 9 月、菅 義偉総理大臣（当時）の就任会見にて不妊治療への保険適応が公約に掲げられ、2022 年 4 月よりタイミング指導や人工授精、ART に対しても保険適応が拡大されました。その影響で、金銭的理由で治療に踏み切れなかった夫婦（カップル）の敷居が下がり、来院患者さんは増加しております。今後も ART 件数は増加することが予測されます。

当院における ART の対象は法的婚姻関係のあるご夫婦もしくは婚姻関係がなく同居しているご夫婦（いわゆる事実婚）を対象としております。また保険診療と自費診療いずれにも対応いたします。保険診療は厚生労働省が定めた年齢と回数によって取り決めがあり、40 歳未満に治療開始した場合と、40 歳以上 43 歳未満に治療開始した場合では保険適応回数が異なります。そのため早めの ART へのステップアップをお勧めする場合がございます。先進医療、即ち公的医療保険の対象とはなっておりませんが、有用性や安全性について厚生労働大臣から認められている医療行為で保険診療と併用可能なものがあります。

その一例として、タイムラプス培養器（胚培養中の胚を一定間隔で自動撮影し、培養器から取り出すことなく、正確な胚の評価が可能となる技術）、マイクロ流体技術を用いた精子選別（特殊な膜構造を用いて成熟精子の選別を行う技術）子宮内細菌叢検査（子宮内の細菌の組成を判断する検査）などを予定しております。なおタイミング指導や人工授精などの一般不妊治療も今まで通り対応しております。

江東区豊洲のエリアに初めてできた ART 施設として皆様のお役に立てれば幸いです。ぜひお気軽に女性外来にご相談ください。



第17回公開講座開催報告・動画配信のお知らせ

10月28日（土）、第17回公開講座を開催しました。「知っておきたい認知症」というテーマで、第1部では、「認知症を知ろう！ 3つのポイント」の演題で看護部・石原ゆきゑ看護師が認知症の特徴を中心に講演しました。第2部では、「今から始めよう！ 認知症予防体操」の演題でリハビリテーション室・山下実里^{みのり}作業療法士が実際に体を動かした体操を取り入れながら認知症の予防について講演しました。第3部では、「困ったときの相談窓口」の演題で総合サポートセンター・^{ほにまる}銚丸俊一精神保健福祉士が認知症の相談先について講演しました。

当日の講演内容は当院のホームページで公開しますので、ぜひご覧ください。

次回の開催は来年の春頃を予定しております。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。



（左から）大槻公開講座委員長、山下作業療法士、銚丸精神保健福祉士、石原看護師

江東区立豊洲図書館 推薦図書コーナーの設置について

江東区立豊洲図書館と連携し、当院医師・看護師等からの推薦図書を配架する特設コーナーを館内に設置していただいています。現在は、泌尿器科、眼科の推薦図書を紹介していただいています。

推薦図書・推薦コメント（一部をご紹介します）

泌尿器科

『尿もれ、頻尿、前立腺の本

名医が教える尿の悩みを根本から治す方法』

高橋悟 著 日経BP社/出版



泌尿器科

森田 将准教授

男女問わず、尿のトラブルの悩みを持つ方は多いです。原因から治療まで、わかりやすく書かれています。

眼科

『緑内障 眼科医の私が患者ならこう対処！』

中元兼二、中澤徹、平松類、原田高幸、大黒浩、

朝岡亮、石田恭子 著 /文響社 出版



眼科

岩渕 成祐教授

眼の成人病の一つである緑内障について専門家が詳しく書いており、信頼できる1冊です。

江東区立豊洲図書館

〒135-0061

東京都江東区豊洲 2-2-18

江東区豊洲シビックセンター

9階・10階・11階（一部）

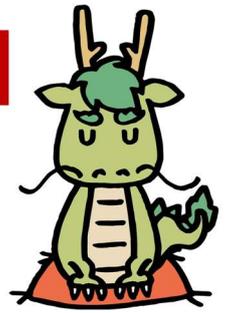
Report

クリスマスツリーを点灯しました

1階エスカレーター下にクリスマスツリーの設置と正面玄関前のイルミネーションを実施しています。ご来院の際はぜひ、クリスマスのイルミネーションをお楽しみください。



年末年始休診のお知らせ



2023年12月29日（金）から2024年1月3日（水）は、
年末年始のため休診となります。あらかじめご了承ください。

江東豊洲病院開院 10周年に向けて Part6

昭和大学江東豊洲病院は2014年3月24日に開院し、今年10年目を迎えました。
病院だよりでは数回にわたって病院の沿革を皆さんにご紹介します。

2020年5月1日 地域周産期母子医療センターの認定

「女性と子どもにやさしい病院」を基本方針の1つとした当院は、開院以来、地域のハイリスク妊婦さんを主軸とした受け入れを行い、東京都より周産期に係る比較的高度な医療行為を常時担う医療機関として認定されました。

また、一般の妊産婦さんの受け入れについても行い、地域で妊娠・出産を目指す患者さんや妊産婦さんのニーズに幅広く応えるべく、引きつづき取り組んでまいります。



周産期センター病室（個室）

2019年12月 不妊専門外来 開始

2020年5月 NIPT（母体血を用いた出生前遺伝学的検査） 開始

2022年3月 宿泊型産後ケア 開始

2024年 生殖補助医療の実施体制 拡充

編

暑さの残る今年の秋を、皆様はどのように過ごされましたか。コロナの報道は聞かなくてもプール熱、インフルエンザと感染症情報は更新され、世界では人命に関わる争いが終わる気配を見せず、穏やかな日々の大切さを感じます。

集

そろそろ年末の準備やイベントが話題にあがる時期になりました。自身に^{ひるがえ}翻ると異動して半年たち、郷のルールを理解しつつも目標や課題の進捗には多少の肌寒さを感じる状況です。組織においては周りにいる人達が笑顔で、互いに支援できる環境になるよう、小さな行動を続けることも日々の課題になります。

後

今年は人の集う年末が戻ってくるでしょう。人との関係性を大切に、美味しいものと会話を共にし、穏やかに除夜の鐘を聴きたいと思います。皆様におかれましても慌ただしい師走の中で、ひとときでも穏やかな時間を過ごされますよう心より願っております。

記

理学療法士 よしざわ まえこ
義澤 前子



昭和大学
SHOWA University

昭和大学江東豊洲病院 <http://www.showa-u.ac.jp/SHKT/>

〒135-8577 東京都江東区豊洲 5-1-38

TEL03-6204-6000(代表)

発行責任者：横山 登 編集責任者：大槻 克文



昭和大学江東豊洲病院
Facebook ページ

Showa University KotoToyosu Hospital